



ぐんぐん夢プランふり返りアンケート

(前期)

<発行日>令和7年10月吉日 <発行者>京都市立大將軍小学校長 金子 真也

TEL 075-461-4310 <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/daishougun-s/>

学校教育目標 自他ともに大切にし 未来に向かって努力し続ける子

令和7年度 ぐんぐん夢プランふり返りアンケートから

7月に今年度一回目のふり返りアンケートを保護者の皆様と子どもたちに実施いたしました。昨年度に引き続きオンラインでのアンケートになりました。保護者の皆様におかれましては、お忙しい中アンケートの回答にご協力いただきありがとうございました。結果を分析・検討し、「今後の展望」としてまとめさせていただきました。

ぜひ、ご一読いただき、今後の取組にご理解・ご支援いただきますようお願いいたします。

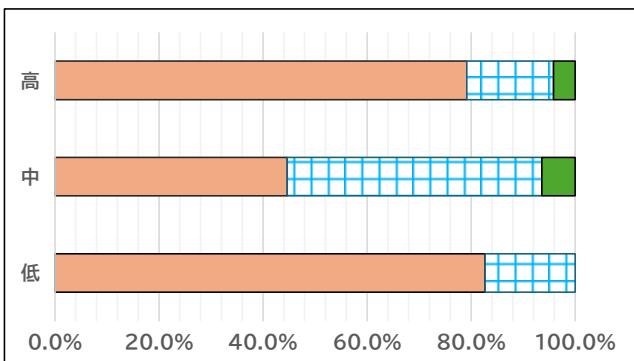
今後も「子どもたちが明日も行きたい学校」となるようさらに取り組んでいきたいと思います。

「楽しい学校」づくりをめざして

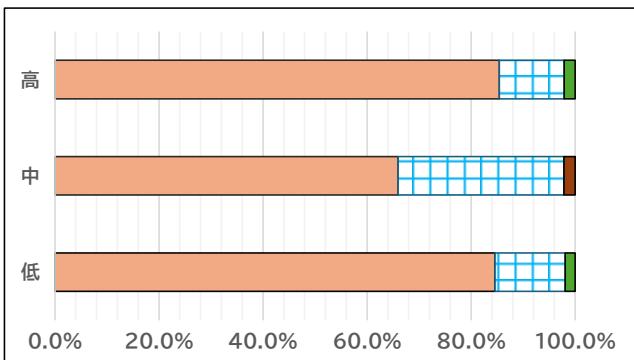
できている	だいたいできている	あまりできていない	できていない
■	■	■	■

【児童】

○ 学校が楽しい。

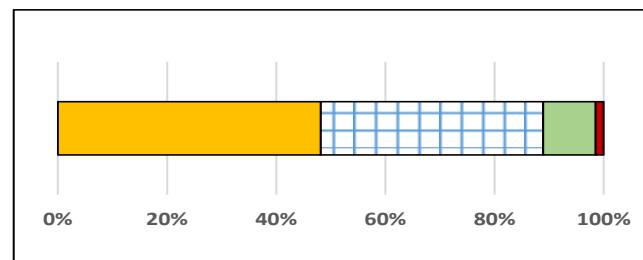


○ 友達を大切にしている。

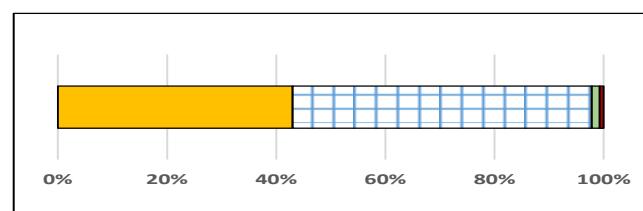


【保護者】

○ 子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。



○ 子どもが友達を大切にし、仲良くするように家で働きかけている。



学年によって多少の差はあるものの、児童・保護者ともに「学校が楽しい」と回答した割合が90%を超えるという、たいへん嬉しい結果となりました。

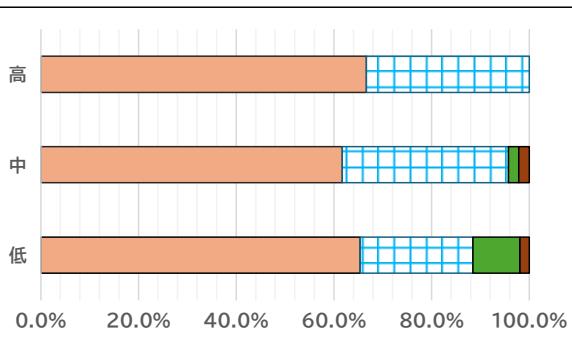
学校の存在意義は「学習」だけにとどまらず、むしろ友達との関わりを通して得られる学びが多いと感じています。ご家庭でも、友達と仲良くするよう働きかけていることが、子どもたちが友達を大切にしようとする気持ちにつながっているのだと思います。

友達を大切にすることは、自分自身を大切にすることにもつながり、学校を含めた社会をよりよくする力にもなると考えています。今後も、児童一人ひとりの声に耳を傾け、寄り添った教育を積み重ねていきたいと思います。

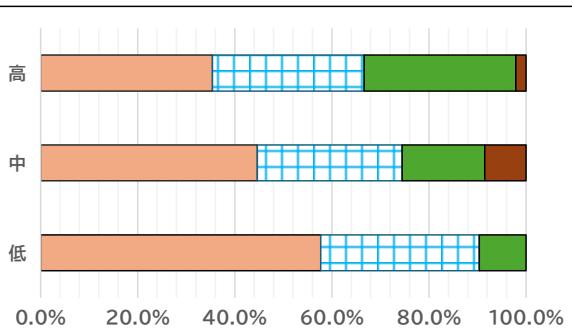
「よりよい授業」づくりをめざして

【児童】

○授業はよくわかる。

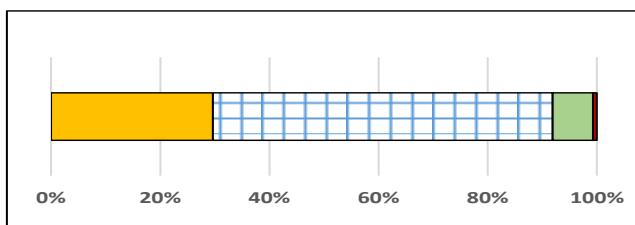


○授業中、自分から進んで発表している。

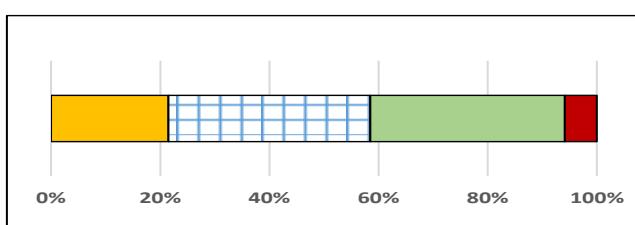


【保護者】

○授業はわかりやすい。



○子どもが授業中進んで発表するように励ましている。



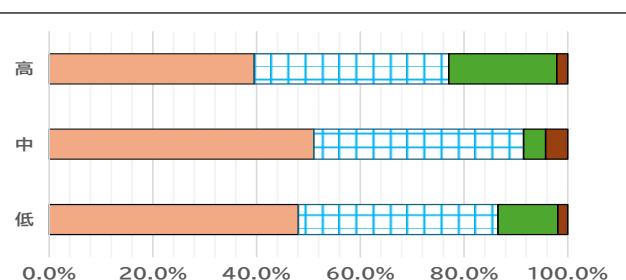
小学校は、学びの基礎を築く大切な場です。子どもたちが受け身ではなく、自ら進んで授業に向き合うことで、学ぶことの面白さを実感できるようになります。「学ぶ喜び」や「学ぶ楽しさ」を味わうことによって、自律的な学習習慣が身についていくと考えています。

これからも、子どもたちのために「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりをめざし、教職員一同研鑽を重ねてまいります。

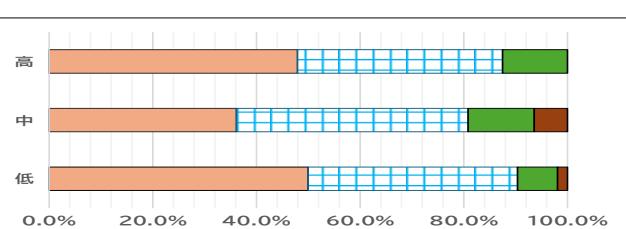
家庭のこと・地域のこと

【児童】

○困ったことがあれば先生に相談できる。

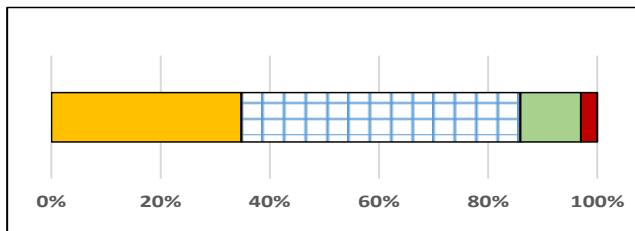


○自分のいいところをほめもらっている。

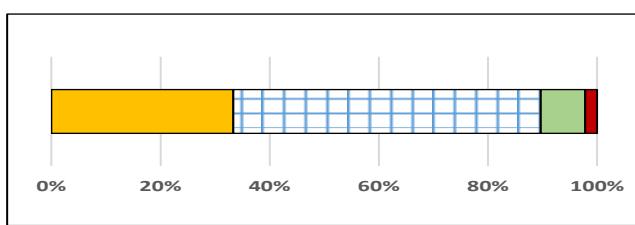


【保護者】

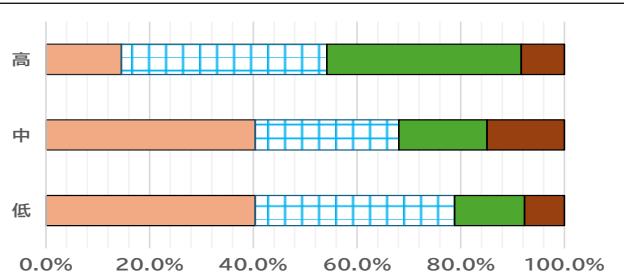
○子どものことを学校や先生に相談しやすい。



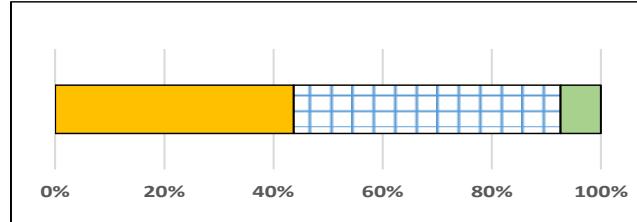
○学校は子どもの良いところを見つけています。



○自分のいいところが言える。



○子どもの良さを認め、ほめるようにしている。



困ったことがあれば、先生や学校に比較的相談しやすいという結果が出ています。しかし、高学年になるにつれて「困りごとを相談しにくい」と感じている児童が2割以上いることを、私たちは真摯に受け止める必要があります。今後も、学校や教師が子どもたちにとって心の拠り所となるよう、積極的に声をかけていきたいと思います。

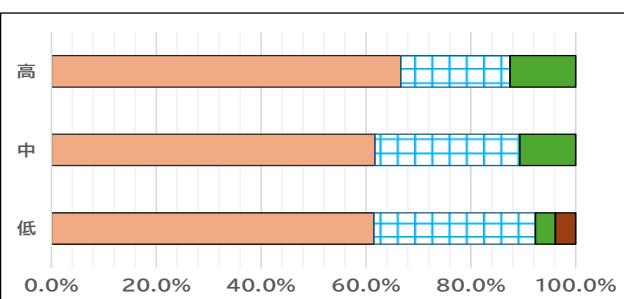
また、「自分のいいところ」を言うことが、学年が上がるにつれて難しくなっている傾向が見られます。「自分のいいところ」とは、単に人よりもできることや得意なことだけでなく、「優しい」「粘り強い」といった性格や、「好きなこと」なども含まれます。そうした面も長所として自信をもち、伸ばしていけるよう支援していきたいと考えています。

保護者の皆様とともに、子どもたちのすべてを受け止め、よりよい自己理解につながるよう努めてまいります。

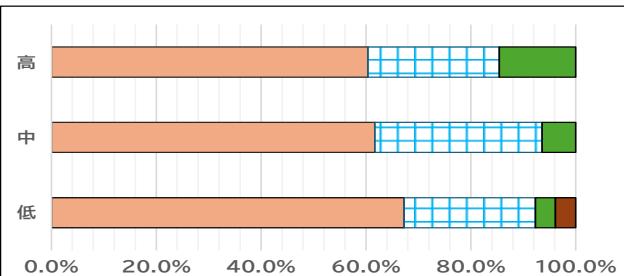
家庭のこと・地域のこと

【児童】

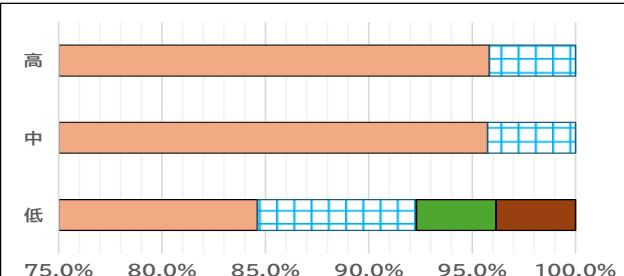
○家族に学校のことをよく話す。



○地域の人に積極的にあいさつしている。

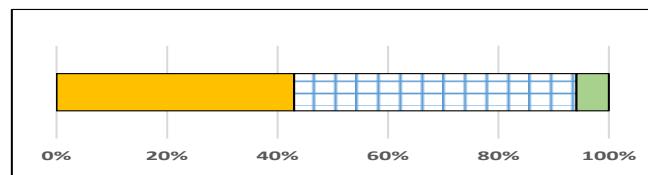


○毎日朝ご飯を食べて登校している。

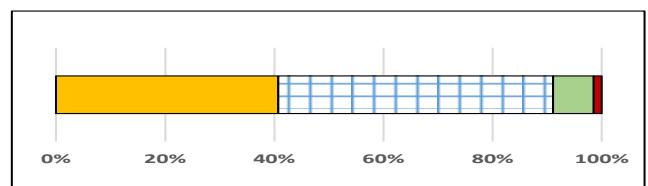


【保護者】

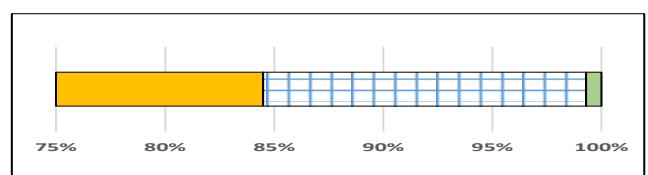
○学校のことについて子どもと話すようにしている。



○子どものお手本となるよう、地域の方々にあいさつをするよう心がけている。



○子どもはきちんと朝食を食べている。



今回の結果から、ご家庭で学校のことをたくさん話題にしていただいている様子がよく伝わってきました。特に中学年・高学年になっても、家族と学校について話すことができる環境が、子どもたちの心の安定につながっていると感じています。

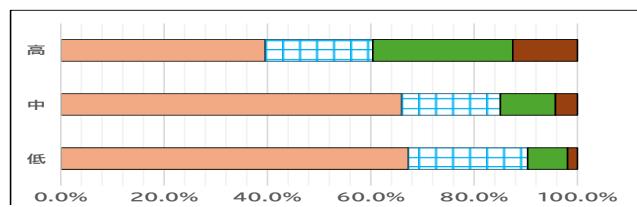
大将軍の子どもたちは、いつも気持ちのよい挨拶をしてくれます。地域の方々や保護者の皆様が挨拶を大切にされていることが、子どもたちのよい習慣として根付いているのだと思います。この素晴らしい文化を、これからも大切に引き継いでいきたいと考えています。

毎朝、朝食をしっかりと食べさせていただいている。中学年・高学年では、できている/だいたいできているが、100%近い数値が出ています。学年が上がるにつれ、「朝食」の大切さを知識として子どもたち自身も自覚している証です。子どもたちが心身ともに健康な状態で学習や友達との関わりに向き合える秘訣であることを、改めて実感しています。

読書のこと

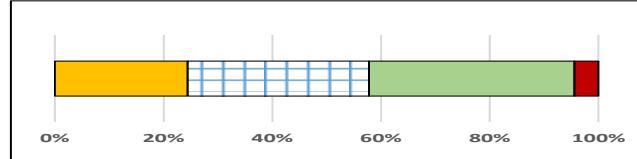
【児童】

○本をたくさん読んでいる。



【保護者】

○子どもが本をよく読むように勧めている。



高学年になると、本をあまり読まなくなる児童が増えている傾向があります。家庭学習や習い事などで忙しく読書の習慣が薄れてしまう児童も多いようです。また、保護者の方からの読書の勧めが約6割にとどまっていることからも、子どもたちの読書離れが進んでいる可能性があると感じています。

読書にはさまざまな効果があると言われていますが、特に文章力の向上が大きな利点です。自分の考えを論理的に、的確な言葉で表現する力が身につくからです。これからも、子どもたちに読書の大切さを伝え、読書を通して豊かな言語力と表現力を育んでいきたいと思います。

最後まで目を通していただき、ありがとうございます。

大将軍の子どもたちは、この学習が自分を伸ばすことに役立つと気付いたり、自覚したりすると、積極的に自分に取り入れようとする力があると感じています。それが表れたふりかえりアンケートであったと思います。

紙面の都合上、アンケートの集計結果をすべて掲載することができません。ホームページでは全ての項目を掲載しておりますのでぜひご覧ください。

また地域の皆様には、下校時の見守り活動だけでなく、放課後まなび教室や読み聞かせ、総合的な学習の時間でのゲストティーチャーなど児童の学びや安全に関わっていただいている。

地域学習については学校運営協議会で計画を行い、実施しています。内容については、学校ホームページの「ぐんぐん夢プラン」の項目に掲載しておりますのでぜひご覧ください。



【ぐんぐん夢プラン理事会より】

- ・プリント配付がほとんどなくなって配信になり、プリント1つにしても親子でコミュニケーションをとる機会が減っているのではないか。
- ・朝の登校時や下校時の挨拶をよくしてくれるようになり嬉しく思う。
- ・デジタル化が進む中、学校に来て、うれしいこと悲しいこと、を味わうことは大事だと思うし、人を尊重し合うことを学んで社会に出ていってほしい。人ととの触れ合いを改めて大事にしたい。